

## 宮浦ギャラリー六区 からみ ≪瀬戸内「鍔造景」資料館≫再公開のお知らせ

宮浦ギャラリー六区（香川県、直島）では、瀬戸内国際芸術祭 2022 春会期期間中、2021 年に公開したアーティスト・下道基行による≪瀬戸内「鍔（からみ）造景」資料館≫に一部新たに展示物を追加して再公開します。



写真：宮脇慎太郎

### ≪瀬戸内「 からみ 」資料館≫について

アーティスト・下道基行による≪瀬戸内「 からみ 」資料館≫は、2019年9月から始動しました。瀬戸内海地域の景観、風土、民俗、歴史などについて、そこに住む人々、関わりを持つ人々とともに、各分野の専門家も交え、調査、収集、展示し、語り合う場として構想しました。「 からみ 」の中には毎回の展示のテーマが表記されます。一連の営みは記録として保存し、次への展開に活用していきます。

### ≪瀬戸内「鍔造景」資料館≫について

本展では、銅製錬の際に発生する不純物である「鍔」がつくる風景に着目します。直島では1917年から銅の製錬所が稼働し、主たる産業として島の生活を支えてきました。鍔製の煉瓦や瓦は、直島では1950年代に製造されていたと言われており、住宅の基礎や外壁、階段などに用いられ、現在も島の随所で目にすることができます。2020年3月に直島に移住した下道は、風景のなかに残る鍔に注目し、同年4月に島民二名※1とともに「直島鍔風景研究室」※2を立ち上げ、一年以上に渡り島に残る鍔の風景を撮影・収集しました。調査の結果は「直島鍔風景地図」に結実し、本展でも各所の写真とともに紹介されます。

下道は銅鉦山やかつて製錬所が存在した町など、銅製錬に縁のある日本各地にも足を運びました※3。荒川鉦山があった秋田県大仙市で下道が出合った「からみ製大黒」や、鍔製の墓石、尾小屋鉦山があった石川県小松市の集落などからは、日本の近代化の歴史や、銅製錬とともにあった人々の営みが浮かび上がります。2021年の展示に加えて直島の島民の方からお借りした写真や、直島で漂流したライターの展示など新たな様子が加わります。

直島や日本各地の鍔がつくる風景を通して、私たちの足元に確かに存在する近代化という歴史の地層を体感いただきたいと思います。

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 太田・宮重

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp) <https://benesse-artsite.jp/>

瀬戸内「鍔造景」資料館

## 宮浦ギャラリー六区

2013年、直島・宮ノ浦地区に設置されたギャラリー。建築家・西沢大良による設計で、かつて島民が行き交っていた娯楽の場「パチンコ999（スリーナイン）」を、隣接する公園とともに、島内外の人々が集う憩いの場として開館しました。2019年9月からは下道基行によるプロジェクト「瀬戸内「百年観光」資料館」を実施。



宮浦ギャラリー六区外観



「瀬戸内「百年観光」資料館」(2019)の様子

写真：左右ともに山本紉

## アーティストプロフィール

### 下道基行（したみち もとゆき）

1978年岡山生まれ。2001年、武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。日本国内の戦争遺構の現状を調査する「戦争のかたち」（2001-2005）、祖父の遺した絵画と記憶を追う「日曜画家」（2006-2010）、日本の国境の外側に残された日本の植民／侵略の遺構をさがす「torii」（2006-）など、展覧会や書籍、ワークショップなどで発表を続けている。フィールドワークをベースに、生活のなかに埋没して忘却されかけている物語や日常的な物事を、写真やイベント、インタビューなどの手法によって編集することで視覚化する。2019年、ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展日本館の参加アーティストでもあり、国内外さまざまな展覧会に参加。さらに、作家として作品をつくることと並行して、「Re-Fort Project」（2004-）、「新しい骨董」（2014-）、「旅するリサーチラボラトリー」（2015-）など、さまざまな人々とのグループ／コレクティブでのプロジェクト活動も多数行っている。2019年より「瀬戸内「百年観光」資料館」を企画・推進し、「館長」に就任。

## インフォメーション

- 会期** : 瀬戸内国際芸術祭2022 春会期  
2022年4月14日（木）～5月18日（水）
- 休館日** : 月曜日
- 開館時間** : 10:00～17:00（最終入館16:30）
- 会場** : 宮浦ギャラリー六区／瀬戸内「百年観光」資料館  
（〒761-3110 香川県香川郡直島町2310-77）
- 鑑賞料金** : 520円（瀬戸内国際芸術祭2022パスポート対象施設）
- アーティスト** : 下道基行
- キュレトリアル・アドバイザー** : 三木あき子

ベネッセアートサイト直島の新型コロナウイルス対策についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。  
<https://benesse-artsite.jp/covid-19.html>

※1 岡本雄大、アンドリュウ・マコーミック

※2 「直島鍍風景研究室」のInstagram。直島の鍍風景が撮影・収集されている。<https://www.instagram.com/naoshimakarami/>

※3 「日本鍍風景資料館」のInstagram。下道が日本各地の鍍風景を撮影・収集している。<https://www.instagram.com/japanslagscapearchive/>

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>